

第5回西条市学校給食運営検討委員会 会議録

○場所 市庁舎4階405会議室

1 開会及び閉会

開会 令和元年11月19日(火) 午後5時30分  
閉会 同 日 午後7時08分

2 出席及び欠席

出席者 委員10名(2名欠席)  
事務局5名 合計15名

○支援業務事業者

復建調査設計(株)松山支店 担当者2名

3 次第

- (1) 委員長挨拶
- (2) 第4回議事録承認
- (3) 議題
  1. 先進地視察研修について
  2. 意見のとりまとめについて
    - ア 施設整備のパターン比較
    - イ 検討会意見書(案)協議
  3. その他
    - ・今後のスケジュールについて

4 傍聴 2名(一般、マスコミ)

5 協議の内容(要旨)

1. 先進地視察研修について  
(伊予市学校給食センター視察研修)

《質疑》

委員長 ・ただ今の説明について何か質問はないか。

委員 ・施設はすごくゆとりがあるなと思った。試食させてもらったが、自校とセンターの違いがわかりやすい献立だなと思った。リンゴを食べ

たとき、何十年かぶりに皮付きのものを食べた。子どもだった場合どのようにして食べるのだろうと感じた。低学年の歯が抜けた子は食べるのが大変ではないか。

また反面、アレルギー室、スチームコンベクションオーブン、冷たいものは冷たく提供できているなど、最新の設備と今の施設との差を感じた。さみしくなった分もあるが、これがセンターなのだとわかった。

委員長 ・リンゴの皮付きの件であるが、我々のところのセンター給食では皮つきで提供しているので、皮つきというのが普通である。

副委員長 ・市によって皮つきのまま出すのが食育という考え方もある。結論づけるのは難しい。主観だが、食器がデイサービスで提供するものと一緒にすることに対して疑問をもった。地産地消だけが食育ではないと思う。

委員長 ・西条市についても同じ食器を使用している。

## 2. 意見のとりまとめについて

### ア. 施設整備のパターン比較

#### 【事務局説明】

委員長 ・ただ今の説明について、何か質問はありませんか。  
ハイブリッド型と集約型の違いを明確化するために、集約型の内容説明の「自校方式を残すものの」という表現は不要で良いか。

事務局 ・現在ドライ方式の自校式が2校ある。それを残しつつ、「複数のセンターで」という意味合いであった。削除することとする。

副委員長 ・委員会の前提として、事業方式について決定するものではないということに理解していただきたい。全ての資料を読み込んでほしいので、希望も含めて意見をいただきたい。

委員 ・第2回の委員会の時にいろんな人の意見を聞きたいということで、アンケートを設けてはどうかと話があったと思う。自分の学校だけだが、31名の教職員の方に意見を聞いた。第3回は参加できず、アンケートをお見せ出来ないまま今日に至った。調査結果について報告させていただき、何かの資料にしていただきたい。(資料配布)

委員 ・センター給食の学校に勤務経験ありの教職員の方が、自校方式の方が良いと多くの方が感じている。センターを批判している訳ではな

く、経験している方の意見である。

私は現在の施設をリフォームして使うということが一番よいと考えている。今の状況で給食を作ることは許されているのだから、建替えではなくリフォームしてはどうか。費用も少なく済むのではないか。自校給食を大事にしていきたい。それが希望である。

センターでも食育は可能であると思うが、「近くにある」「そばにいる」という自校で、五感で感じてもらうということが非常に大事であると考えている。その場に作っていただいている人がいる。生きているということを支えられていることを感じてもらえることが大事であると考えている。それを今まで西条はやってきた。手放すのはとてももったいない。

#### イ. 検討会意見書（案）協議

○学校給食の基本方針（5項目）の考え方について

##### 【事務局説明】

- ①安全で安心な学校給食
- ②栄養バランスのとれたおいしい学校給食
- ③食育・地産地消の推進
- ④働く人の環境に配慮した施設整備
- ⑤将来にわたる安定かつ効率的な体制の構築

委員長 ・委員の皆様には、5回にわたる検討会への参加や市内調理場の見学、先進地での給食センターの視察など、大変お世話になりました。その間委員会では、西条市の学校給食の現状や課題の分析、その対応方法など、様々な角度からご意見をいただきました。また、現場サイドで従事されている栄養教諭の先生や給食調理員の皆様からは、現場でしかわからない貴重なご意見をいただき感謝しております。

先ほど事務局から説明がありましたが、今後の学校給食の運営方針について、基本方針5項目に整理したところです。

そこで、当初の検討委員会の目的である「学校給食の進むべき大きな方向性」について、「意見書（案）」をとりまとめました。

こちらの（案）をたたき台としてご検討いただき、西条市学校給食運営検討委員会の意見書として、教育長へ提出したいと考えています。

##### 【意見書（案）配布】

副委員長 ・基本方針5項目の考え方を基に、まとめたものが意見書（案）という相関関係で問題ないか。

- 委員長 ・その通り。この意見書が成案になれば教育長に提出することになる。
- 委員 ・働く人の環境に・・・というのがこの「学校給食」の基本的な考え方に入っているのは違和感がある。給食センター、給食室を建てるためのものではない。「学校給食」を考えた時にこの項目が出てくるのか。どのような考えからなのか教えてほしい。
- 委員 ・この項目はずっと前から出ていた。第1回目から出ていた。第3回目から施設整備の重要5項目ということでこちらから上げさせてもらった。我々は「給食施設の整備」として依頼を頂いている。答申として出そうとしているのが「学校給食」そのものが①～③の話、④⑤は「労働環境」「施設の運営」。本来の答申の内容の部分である。
- 委員 ・この検討委員会の目的は、老朽化した給食施設を早く改善したい。長い間検討してきたが、実現できていない。そういった古い建物についていかに早く更新していくかについて議論していくところという認識である。学校給食にかかわる部分については西条市で既に議論されている事項ではないか。今はどんな施設にするのかという段階。食育の分野で話すよりも、施設整備で議論すべき。自校式は手狭な敷地で建て直すのも難しい。自校式かどうかを検討するのではなく、一歩進んで、新しく施設をつくるにはどんな整備をするかを考えていくべきではないか。
- 副委員長 ・お二方とは別の視点で意見する。これからの学校給食の基本的な考え方に①～⑤の前に、これからの体制下での学校給食の考え方についてと捉えている。今までの品質が維持できるかという点で答申書に盛り込むべきではないか。例えば、④、⑤のみということでは①②③がないとそれらが失われる可能性があるため、一緒に盛り込んでいただく必要がある。
- 委員 ・副委員長が言われたことは、基本的になる事項である。これらは今まで積んできたノウハウがあるので、自校式でもセンター式でも今後に残していかないといけないものであると思う。新しい施設を建てるにあたって、美味しさ、安心安全、地域防災の面など考えておく必要がある。それは同感である。早急にやらないといけないと思う。
- 委員 ・食育については食育推進計画に準ずるという考え方で良いか。こちらが食育に関して出すぎてはいけないのではないかと。

副委員長 ・③は推進計画に沿った内容であれば、さほど論議しなくてもよいと思う。

委員 ・推進計画とこちらがどういう立ち位置にするかが重要である。③の項目があれば食育推進計画に合致するものを実現していこうということで問題ないのではないか。

委員長 ・先ほど配った資料のP2をご覧頂きたい。  
あとがきの部分、早急にという文言を付け加えていただきたい。あまり時間をかける余裕がない。  
また、付帯意見の①～③の項目以外に前のページでカバーしきれなかったものがあればご意見をいただきたい。

委員 ・「ある程度の規模で集約は必要」とあるが、どの程度決まっているのか。これがどのようなものになるのか。ハイブリッドか集約型が決まったということか。

副委員長 ・およその方針が下されたという程度かと思う。最終的には、我々の意見を取りまとめて教育委員会で検討することとなる。

委員長 ・「ある程度」を深めていくことはこの委員会では決めていくことはできない。なんらかの集約が必要だと思う。そのため概ねで集約していくということが決まったというレベルである。その言い方については適切な言い方があればご提案していただきたい。委員会も次の第6回で終わりを迎える。その中で審議してきた内容を修正する義務がある。

委員 ・全部の集約は難しいから、ある程度というのがあるのではないか。

委員 ・特別食について、バイキング、リクエスト給食とあるが、センターでもやっているところがある。単独のいいところは、学校行事としての給食、生きた食材の献立、学校に合わせた給食が提供できることだと思うので盛り込んでいただきたい。より単独校の良さが伝わると思う。

副委員長 ・バイキング、リクエスト給食をやろうと思うと、1センターの場合でどうすればできるか。

委員 ・ひとつのセンターで何個かのメニューができれば可能。そのための

人数やマネジメントが必要。栄養士さんがいらっしやればよい。

委員 ・画一的なメニューを提供するというのではなく、食育のことも考えて行事食とか食育面も含めて提供していただきたい。複数のメニューから選択できるとか。そういうことも含めて考えていただきたい。自校式を続けていくことは財源、敷地的に現実的ではない。集約する方向性であると思うが、自校式のいいところを取り入れていただくように検討していただきたい。

副委員長 ・バイキングなどの特別食に関して、先ほどの意見を取り入れたい。例えば付帯意見については学校行事に沿った提供や選択肢を将来的に増やすことを検討するような内容を盛り込んでいくこととする。

委員長 ・ある程度はとってしまっているか。

委員 ・それだと全部集約してもいいと捉えることができるので、あつた方がよい。

委員長 ・今後、まったく施設の集約をしなくていいのではないかと考えている委員の方はいるか。今の状態でいくことは無理である。

委員 ・リノベーションではダメなのか。新築基準にもかからないのではないか。

事務局 ・リフォームであればかからない。だが、建物自体は古いまま、中だけキレイになり、完全なドライ式にはできない。建物も狭く、リフォームしても国の衛生基準に達しない。今は既存不適格の状態であり、このままではいけない。

委員 ・既存不適格の状態をこれからも続けていけないということか。

事務局 ・その通りである。

委員 ・リフォームだと5～10年後、また施設の問題が出てくる。この際に新しい基準にのっとった施設をつくらうということではないか。一時をしのぐのはリフォームでもいいが、将来を見据えるとそれでは済まないのではないか。

委員 ・現在西条市で衛生基準をみたしているのは、神拝小と東予東中。そ

れ以外は集約されるという考え方か。

委員 ・ここでは集約をどうするのか決めることはできない。現場の声については十分に教えていただいた。ただし、集約することは必要であり、集約するのであればどうするかをこの委員会で話し合っている。

委員 ・集約はある程度必要になるのではないか。それは仕方ない。

委員 ・集約がどんな方式でも①～⑤が重要であるということを、市へ十分理解していただきたいということではないか。

副委員 長 ・委員会としては検討内容を結論として整理をする必要がある。自校の意見を盛り込むことは「自校式を残す希望の声もあるが」という形でさせていただきたい。

委員長 ・皆様方の意見を基に、一部修正を加えたいうえで委員長一任として整理させていただきたい。

### 3 その他について

#### ○第6回のスケジュールについて

##### 【事務局説明】

委員長 ・第6回を行う。12月としているが難しいかもしれない。日程調整させていただく。

委員長 ・その他意見はないか

(特になし)

委員長 ・以上で本日の会議は終了する。ご協力ありがとうございました。

